

# 12年度第1四半期 決算説明資料

2012年9月14日

沖電気工業株式会社

※億円単位の数値の表示方法について:

各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。  
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

## 本日のご説明内容

### 1. 過年度決算の訂正について

1-1) 過年度決算の概要

1-2) 連結業績への影響見込み額の推移

1-3) 訂正概要①(P/L)

1-4) 訂正概要②(B/S)

### 2. 第1四半期決算について

2-1) セグメント情報

2-2) 営業利益の変動要因

2-3) P/Lの概要

2-4) B/Sの概要

2-5) キャッシュフローの概要

### 3. 業績予想について

3-1) サマリ

3-2) 定性的情報

## 過年度決算訂正の概要

### ■ スペイン販売子会社における不適切な会計処理

#### ・売上債権の過大計上

- ①回収不能債権の隠蔽(資金循環取引等)
- ②実体を伴わない売掛金計上

#### ・債務の未計上

- ①リベート(債務)の未計上
- ②債務支払保証(債務)の未計上
- ③前受金(債務)の未計上

### ■ 対象期間

2006年度期首～2012年度第1四半期(6年3ヶ月間)

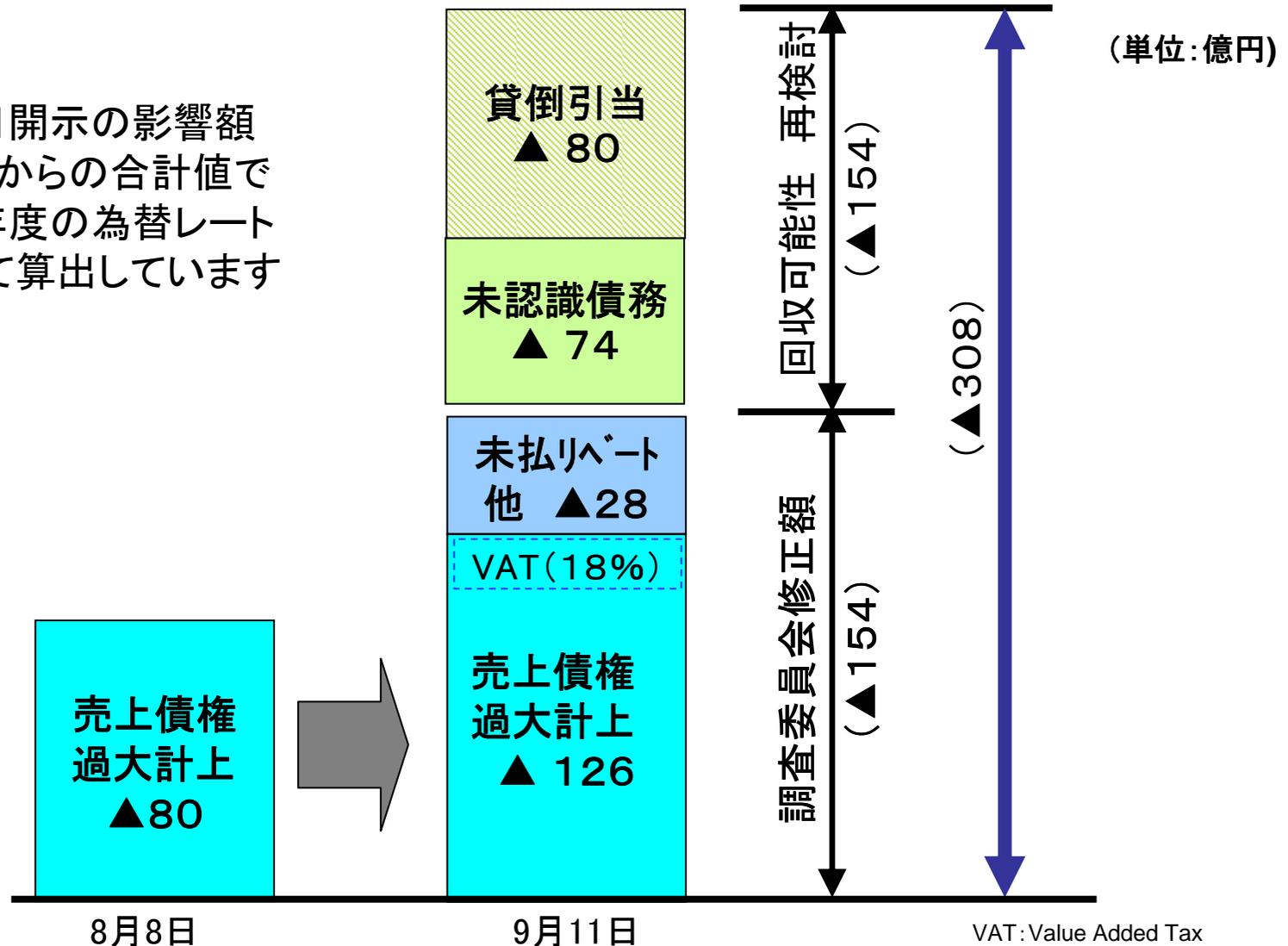
### ■ 本件に起因する影響額(累計) ※回収可能性の再検討結果を含む

- ・売上高: 75億円減少、・営業利益: 216億円損失
- ・純利益: 308億円損失、純資産: 244億円減少

## 連結業績への影響見込み額の推移

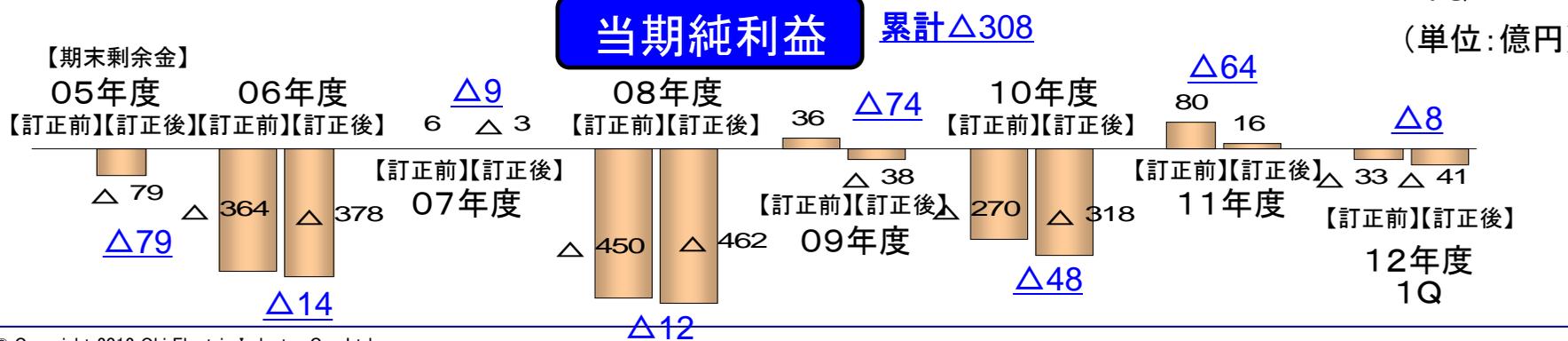
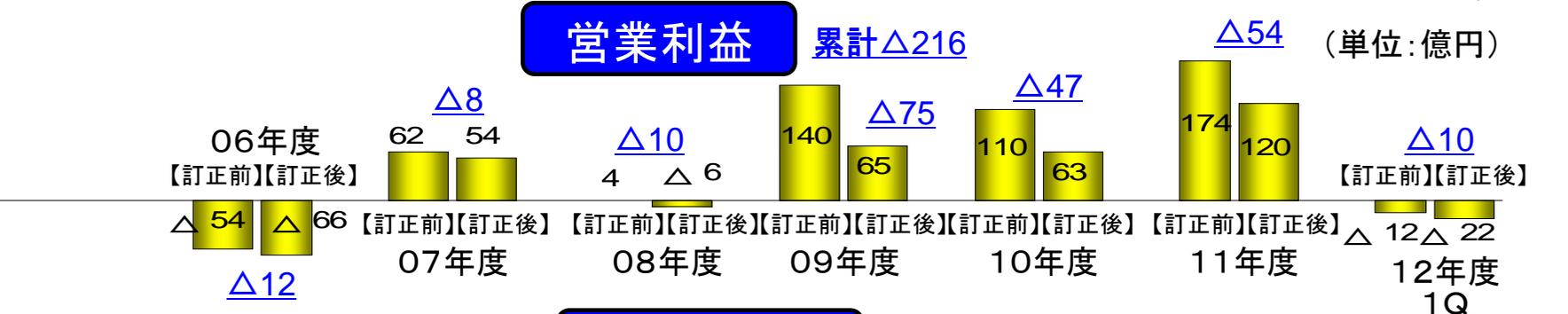
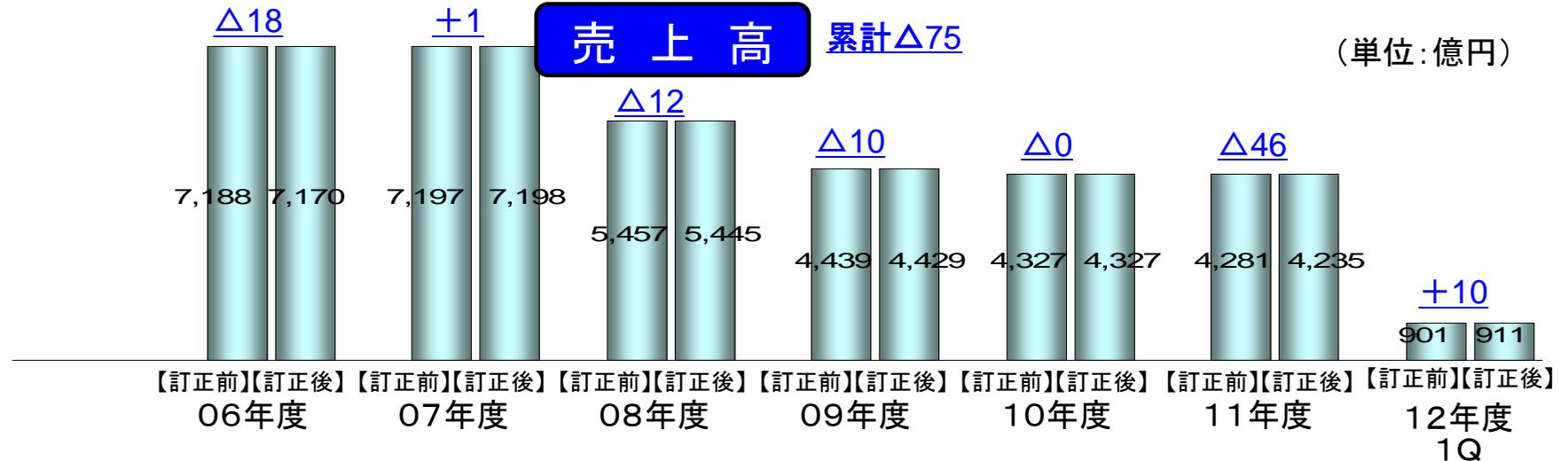
- 外部調査委員会の調査により判明した当期純利益に対する影響額  
および債権回収可能性再検討による影響額

注：9月11日開示の影響額は過年度からの合計値であり、過年度の為替レートを考慮して算出しています



# 訂正概要①(P/L)

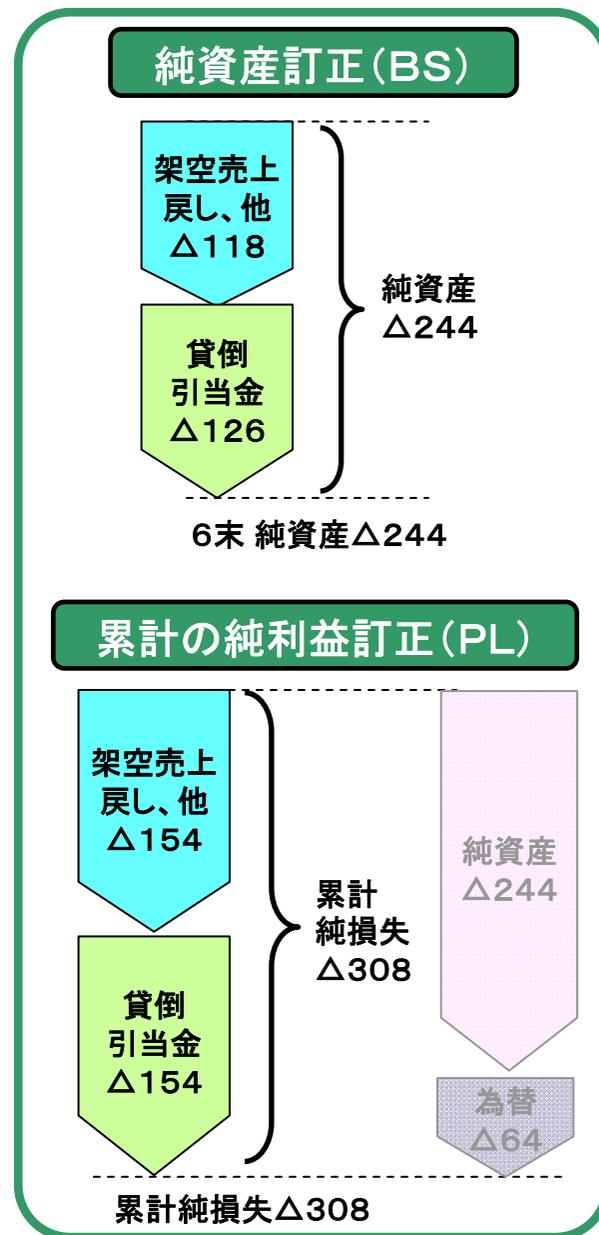
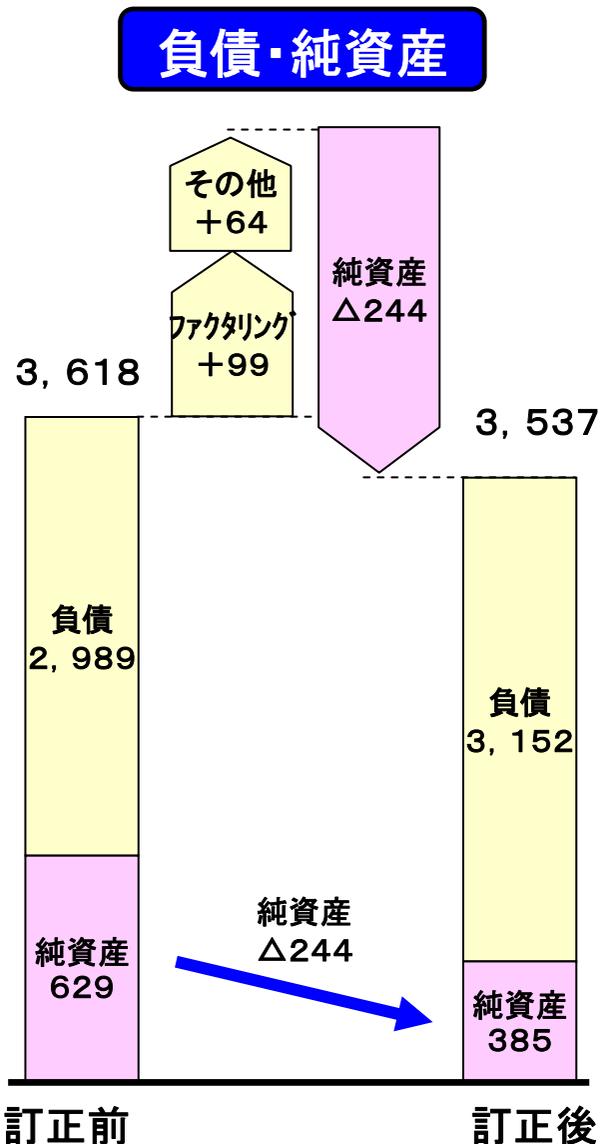
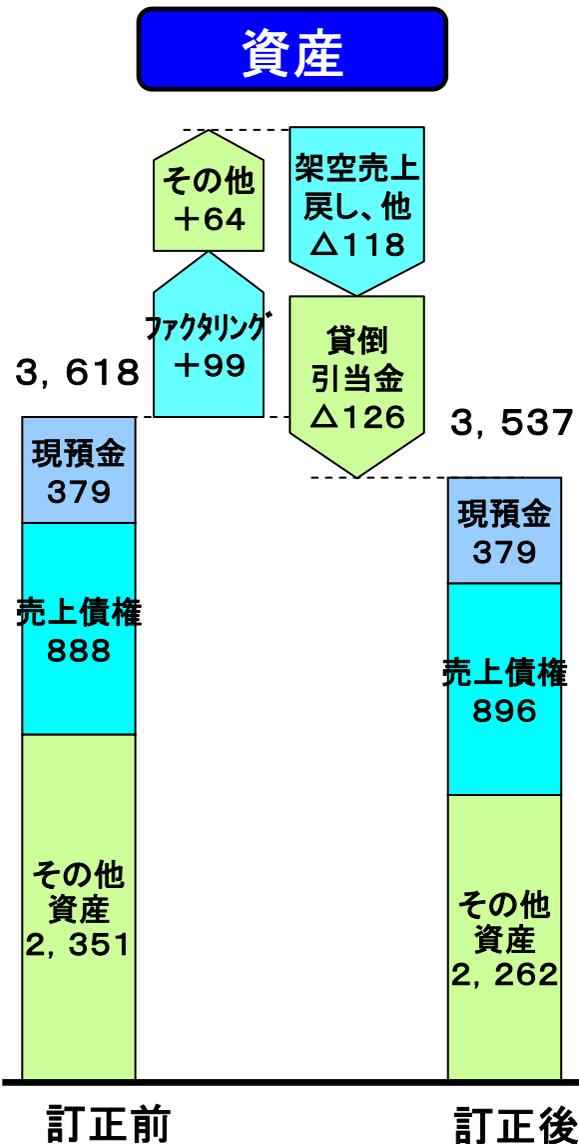
※青字は訂正額



## 訂正概要②(B/S)

(単位:億円)

2012年6月末



## 本日のご説明内容

### 1. 過年度決算の訂正について

1-1) 過年度決算の概要

1-2) 連結業績への影響見込み額の推移

1-3) 過年度決算の訂正概要①(P/L)

1-4) 過年度決算の訂正概要②(B/S)

### 2. 第1四半期決算について

2-1) セグメント情報

2-2) 営業利益の変動要因

2-3) P/Lの概要

2-4) B/Sの概要

2-5) キャッシュフローの概要

### 3. 業績予想について

3-1) サマリ

3-2) 定性的情報

## セグメント情報 サマリ

### ■セグメント毎に状況が異なるものの、決算訂正影響を除き、概ね想定どおり

#### 【対前年同期比較】

- 売上高は、72億円の増収（為替影響▲18億円、決算訂正影響+9億円）
  - ・情報通信セグメントは、中国向けATMの増加や中国決算期間変更影響などにより増収
  - ・プリンタセグメントは、カラーLEDプリンタの販売が堅調
  - ・その他の事業は、アミューズメント市場向け部品関連事業が堅調
- 営業損益は、21億円の減益（為替影響▲8億円、決算訂正影響▲12億円）
  - ・プリンタの輸送費の増加による販管費増などにより減益

ATM : Automated Teller Machine LED:Light Emitting Diode

※決算訂正後

	12年度		※前年同期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
情報通信	510	14	467	15
プリンタ	285	△30	269	△8
E M S	67	1	69	1
その他	49	7	34	6
消去・本社費	—	△14	—	△15
合計	911	△22	839	△1

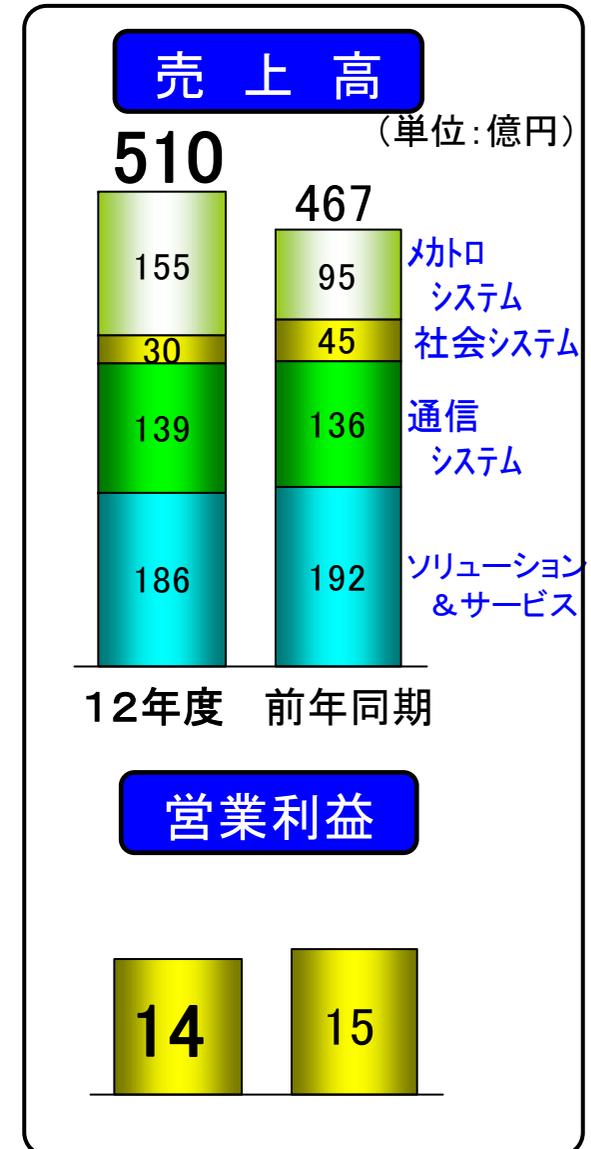
## セグメント情報【情報通信】

### ■ 売上高:

- ソリューション&サービス:  
官公庁向け案件などは増加するものの、一部保守が減少
- 通信システム:  
コアNWやホームGWなどが堅調
- 社会システム:  
前年度の震災期ズレ影響を除けば、ほぼ前年並み
- メカトロシステム:  
・中国向けATMは引き続き好調  
・中国子会社の決算期間変更影響により約40億円増収

### ■ 営業利益

物量増に伴う限界利益の増加や変動原価の低減効果はあるものの、前年度の社会システムの震災期ズレ影響がなくなったことなどにより、ほぼ前年並み



NW: Network GW: Gateway

## セグメント情報【プリンタ】

■ ①為替による影響

➢ 売上高19億円減収、営業利益8億円減益

■ ②決算訂正による影響

➢ 売上高9億円増収、営業利益12億円減益

■ 売上高: ①、②を除き26億円増収

➢ カラーLEDプリンタおよびモノLEDプリンタ:

- ・概ね計画通りに販売台数が増加
- ・主力のA4カラーおよびモノクロ新商品販売も堅調

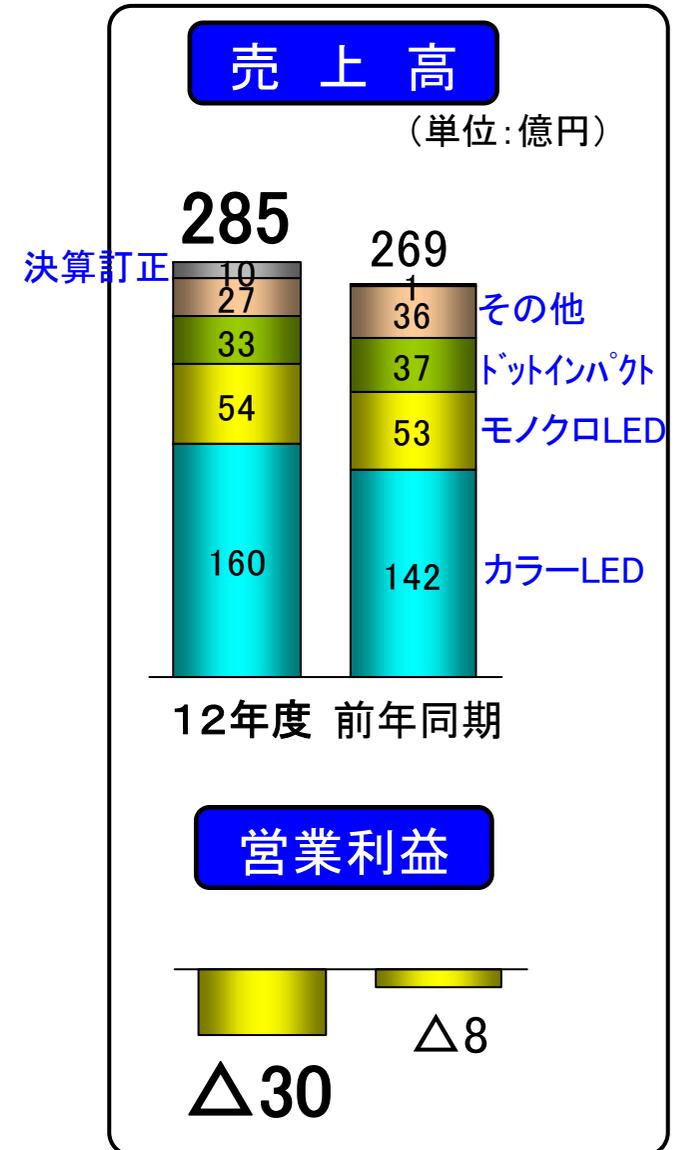
➢ ドットインパクトプリンタ:

販売台数は増加するものの、本体価格下落により減収

■ 営業利益: ①、②為替影響を除き2億円減益

物量増に伴い限界利益は増加するものの、輸送費の増加による販管費増などにより減益

※決算訂正後



## セグメント情報【EMS】・【その他】

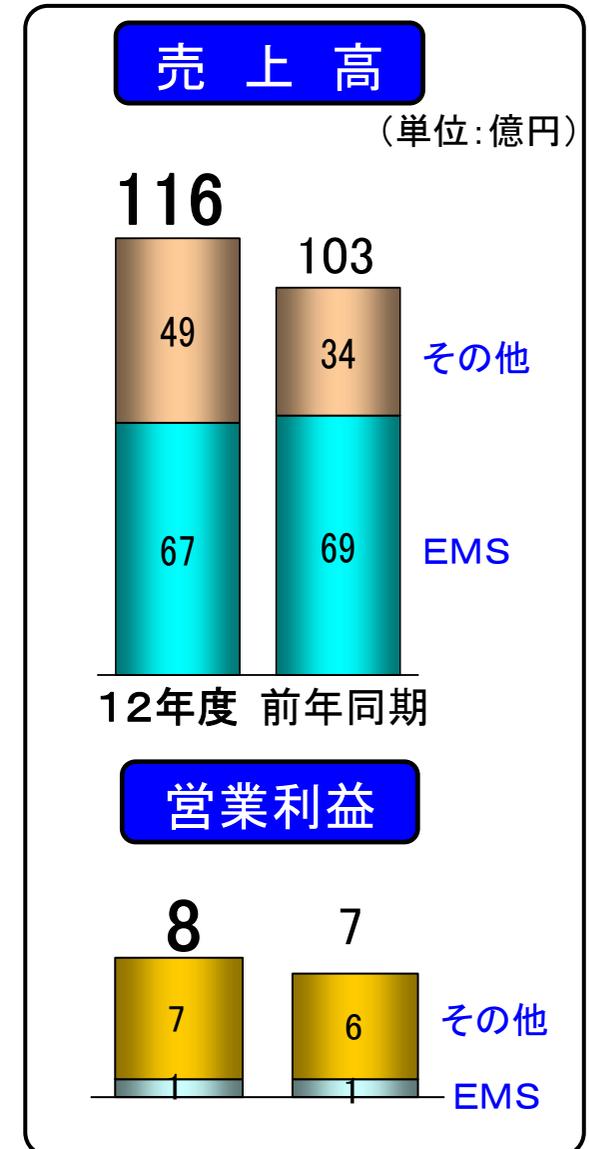
### ■ 売上高

- EMS:  
半導体装置関連の需要が低下するものの、医療機器市場などで新機種が立上がり、ほぼ前年並み
- その他:  
アミューズメント市場の需要増などにより  
部品関連事業が増収

### ■ 営業利益

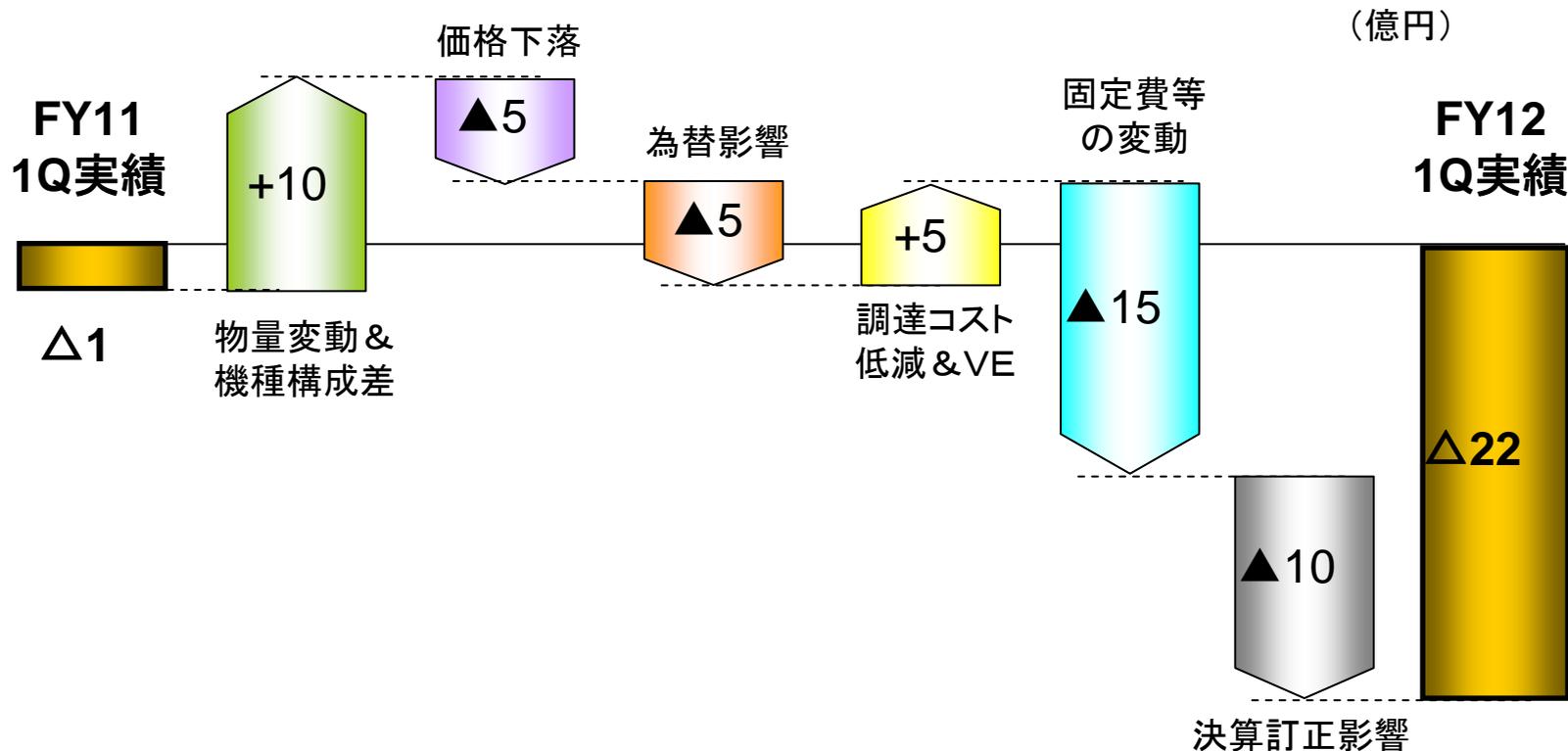
物量増に伴う限界利益の増加などにより、1億円増益

EMS: Electronics Manufacturing Service



## 営業利益の変動要因

■物量増などの増益効果はあるものの、決算訂正影響に加え、円高影響やプリンタ販管費増などにより、前年同期比で21億円減益



## P/Lの概要

(単位:億円)	12年度	前年同期
売上高	911	839
売上原価	667	614
販管費	267	226
営業利益	△22	△1
営業外収支	△11	△7
経常利益	△33	△8
特別損益	△3	△4
税引前利益	△36	△12
当期純利益	△41	△31

### 【対前年比較】

- 販管費は、スペイン貸倒引当金増とプリンタ輸送費増などにより増加
- 営業外収支は、支払い利息が減少するものの、為替差損が増加

### 【参考:平均為替レート】

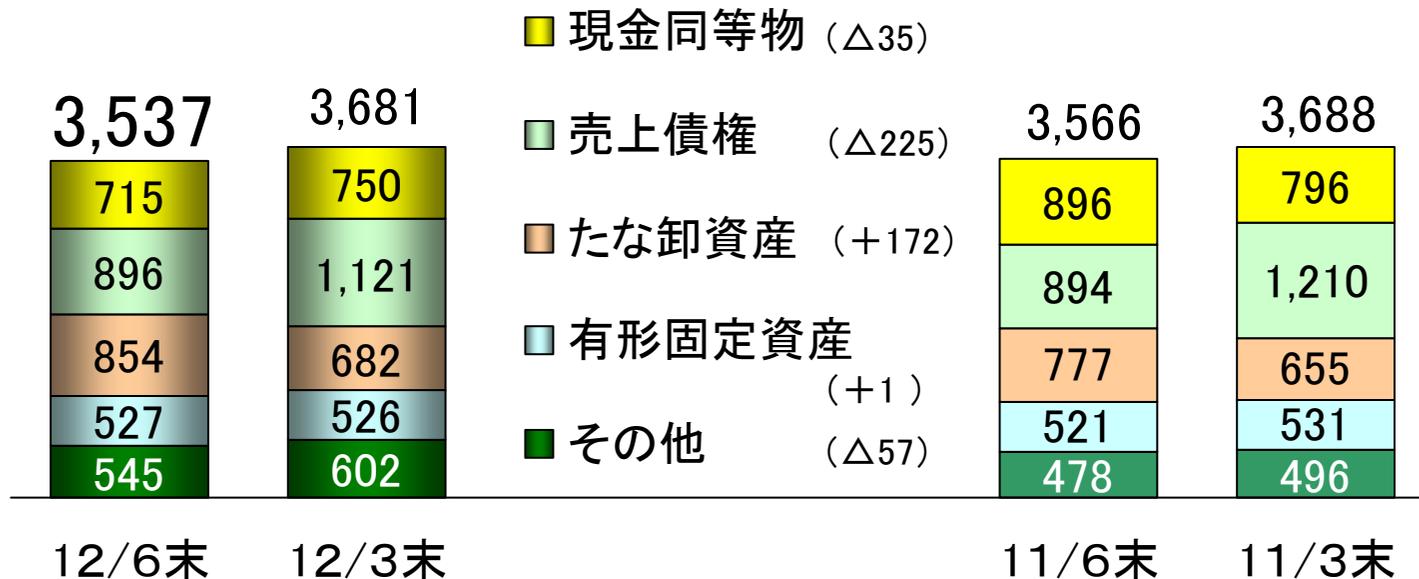
	12年度Q1	前年同期
USD	80.2	81.8
EUR	102.9	117.4

## B/Sの概要【資産の部】

- 売上債権の減少などにより、総資産は144億円減少
- 現金同等物は35億円減少
- 例年通り、前年度第4四半期の売上高が大きいことから  
売上債権は3月末に増加し、当四半期に現金等で回収されるため6月末に減少  
たな卸は3月末に減少し、当四半期には生産平準化等により6月末に増加

(単位:億円)

( )内は増減

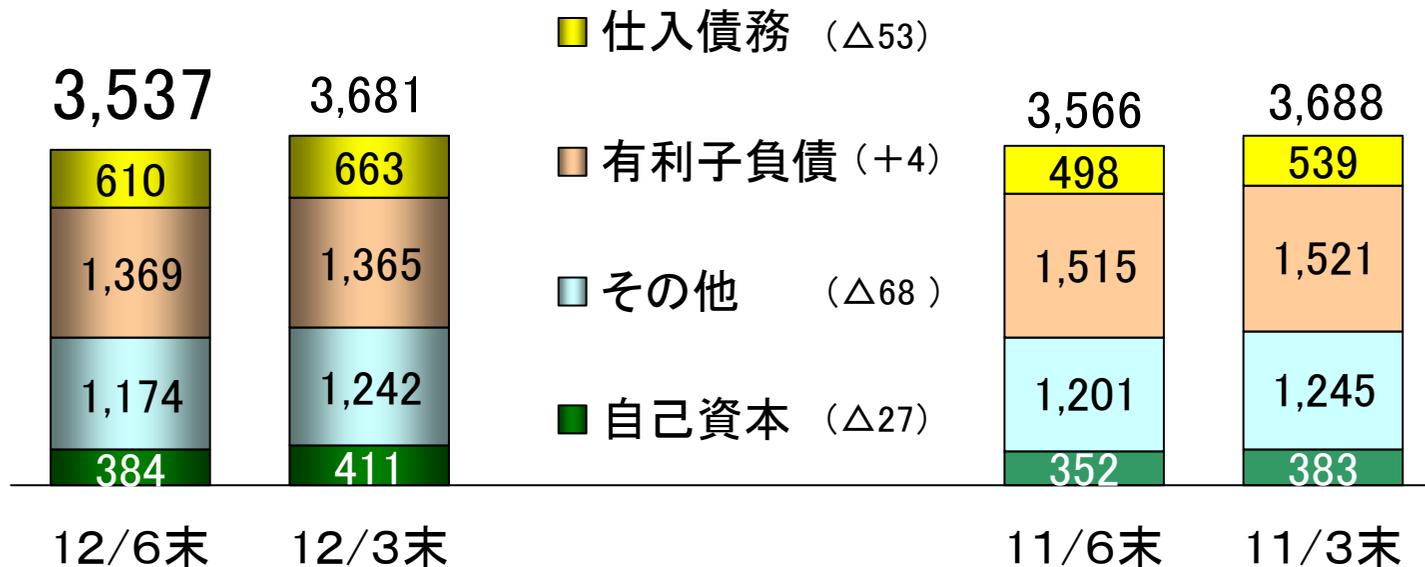


## B/Sの概要【負債・純資産の部】

- 自己資本は、当期純損失や優先株式の配当などにより27億円減少。  
自己資本比率は10.8%
- NET有利子負債は、38億円増加し653億円。NET D/Eレシオは1.7倍

(単位:億円)

( )内は増減



## キャッシュフローの概要

- 中国ATMやプリンタ等の売上増加に加え、社会インフラシステムの受注増に伴う仕掛増加などにより、運転資金が増加

(単位:億円)	12年度	前年同期
<b>I 営業キャッシュフロー</b>	<b>△13</b>	<b>127</b>
税金等調整前当期純利益	△36	△12
減価償却費	28	30
運転資金の増減	6	125
その他	△11	△16
<b>II 投資キャッシュフロー</b>	<b>△37</b>	<b>△18</b>
設備投資支払額	△20	△17
その他投資活動	△17	△1
フリー・キャッシュフロー(I + II)	△50	109
<b>III 財務キャッシュフロー</b>	<b>△4</b>	<b>△9</b>
<b>キャッシュフロー計(I + II + III)</b>	<b>△54</b>	<b>100</b>

フリー・キャッシュフローおよびキャッシュフロー計については、各項目の億円単位での合計値で表示しています

## 本日のご説明内容

### 1. 過年度決算の訂正について

1-1) 過年度決算の概要

1-2) 連結業績への影響見込み額の推移

1-3) 過年度決算の訂正概要①(P/L)

1-4) 過年度決算の訂正概要②(B/S)

### 2. 第1四半期決算について

2-1) セグメント情報

2-2) 営業利益の変動要因

2-3) P/Lの概要

2-4) B/Sの概要

2-5) キャッシュフローの概要

### 3. 業績予想について

3-1) サマリ

3-2) 定性的情報

## 2Q累計業績予想サマリ

※決算訂正後

各セグメントの業績動向と決算訂正影響を踏まえ、  
2Q累計業績予想を見直す。

(単位:億円)	2Q累計業績予想			2Q累計 前年実績
	今回 (内、決算訂正影響)	前回公表	修正額	
売上高	1,950 (+10)	1,880	+70	1,863
情報通信	1,160	1,090	+70	1,089
プリンタ	560 (+10)	550	+10	532
EMS	150	160	▲10	155
その他	80	80	—	87
営業利益	△5 (△10)	0	▲5	△29
情報通信	45	40	+5	44
プリンタ	△35 (△10)	△25	▲10	△62
EMS	5	5	—	5
その他	10	10	—	14
消去・本社費	△30	△30	—	△31
経常利益	△20 (△8)	△15	▲5	△52
当期純利益	△30 (△8)	△20	▲10	△97

## 通期業績予想サマリ

※決算訂正後

情報通信システムが堅調に推移する見込みのため、  
プリンタ事業の落ち込みをカバーして、利益は据え置き

(参考)	下期為替前提
USD	76.0
EUR	100.0

(単位:億円)	通期業績予想			通期 前年実績
	今回	前回公表	修正額	
売上高	4,470	4,400	+70	4,235
情報通信	2,800	2,720	+80	2,672
プリンタ	1,150	1,160	▲10	1,074
EMS	350	360	▲10	313
その他	170	160	+10	176
営業利益	185	185	—	120
情報通信	210	195	+15	187
プリンタ	△5	10	▲15	△43
EMS	15	20	▲5	15
その他	30	25	+5	25
消去・本社費	△65	△65	—	△64
経常利益	155	155	—	91
当期純利益	110	110	—	16

## 定性的情報

<p>情報 通信 システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 中国向けATMは引き続き堅調に拡大 (12年度見込: 約23千台⇒約28千台)</li> <li>➤ 防災行政無線、消防無線のデジタル化等の社会インフラシステムを順調に獲得</li> </ul>
<p>プリンタ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 積極的な販売投資によるMIF拡大は順調に推移</li> <li>➤ 新商品開発による商品ラインアップ拡充</li> <li>➤ スペイン販売計画の見直し</li> </ul>
<p>EMS その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 医療やエコ分野などの新領域開拓</li> <li>➤ PCB事業の規模拡大(M&amp;A)による競争力強化</li> <li>➤ 半導体装置関連の需要低下</li> </ul>

MIF: Machine In Field PCB: Printed Circuit Board



*Open up your dreams*